

下都賀管内水稲技術資料 No.4

令和2年6月15日
下都賀農業振興事務所

重点ポイント

- ①5月初旬移植の生育は、2日程度進んでいる。
- ②生育に合わせた水管理を行きましょう！
- ③縞葉枯病の本田防除を行きましょう！

1. 気象の経過

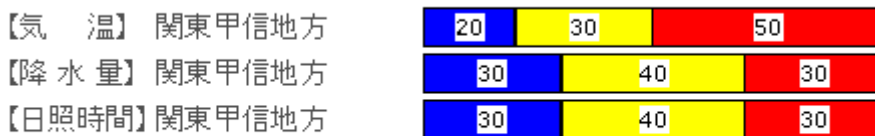
5月は、平年と比べ気温は高く、降水量はやや少なく、日照時間はやや多く推移しました。6月上旬は、平年と比べ気温は高く、降水量は少なく、日照時間は多く推移しています。

表 小山市アメダス

	5/1-31	平年差・比	6/1-10	平年差・比
平均気温	18.9℃	+1.6℃	23.4℃	+3.5℃
降水量	121mm	97%	4mm	11%
日照時間	173時間	102%	69時間	139%

2. 気象庁の1か月予報（6月11日発表）

<向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)>



凡例: ■ 低い(少ない) ■ 平年並 ■ 高い(多い)

6月11日頃に梅雨入りし、平均気温は高い見込みです。



3. 水稲生育診断ほ（6月8日調査）の生育調査結果

6月8日時点で、農業試験場では平年と比べて草丈は高く、茎数は多く、葉齢はやや進み、葉色は淡い状況です。

表1 水稲生育診断ほ（小山市鏡）の生育調査結果

品種：コシヒカリ	本年（小山市鏡） （5月3日移植）	生育診断指標値 （移植後30日）	（参考）農業試験場	
			本年	平年値
草丈(cm)	41.8	—	38.6	33.2
茎数(本/㎡)	451	410~480	594	413
葉齢	9.3	—	8.1	7.8
葉色(葉色板)	4.0	4.9~5.1	4.0	4.3
生育診断値 (葉色×茎数)	1,817	2100~2450	2,375	1,781

※管内の調査ほ場は、本年から全量基肥に変更。農業試験場は5月7日移植。

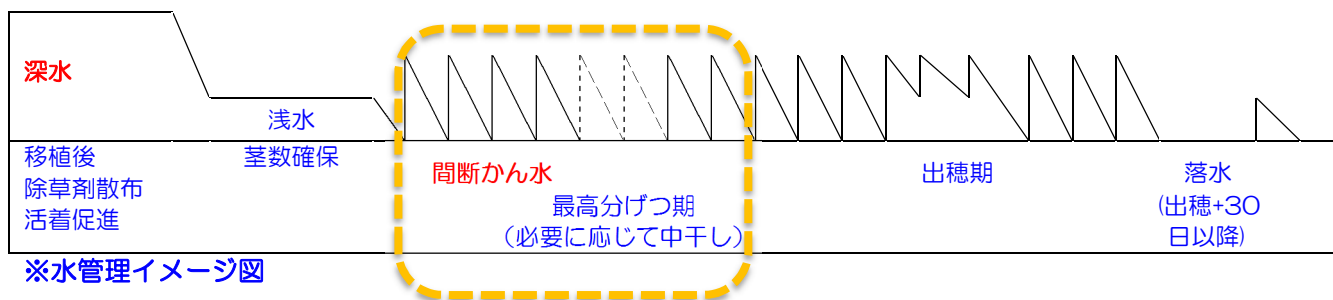


4月～6月は「春の農作業安全確認運動」の実施期間です。
家族や仲間から、作業員へ「声かけ」（注意喚起）をしましょう。

4. 栽培管理

◎水管理

間断かん水に入りましょう。



☆茎数が多すぎるほ場

⇒落水期間を長くとした間断かん水 + 6月下旬から中干し

☆葉色が濃いほ場、浅耕田、地力の低いほ場

⇒落水期間を長くとした間断かん水

☆葉色が淡くなっているほ場

⇒通常の間断かん水

◎カリの追肥

茎葉硬化、根張り向上による倒伏防止、登熟向上のため、**出穂前45日頃にカリ追肥をしましょう。**5月上旬移植のほ場では、**6月上旬～中旬が出穂前45日頃**となります。

珪酸加里⇒ 25kg/10a 施用 塩化加里⇒ 10kg/10a 施用

◎縞葉枯病対策

農業環境指導センターより 5/22 付で発表された病害虫発生予報第2号では、イネ縞葉枯病の発生予想は“**平年並**”となっています。

縞葉枯病が多発した場合、収量に大きな悪影響を及ぼしています。

罹病性品種（コシヒカリ等）、抵抗性品種（あさひの夢・とちぎの星）に関わらず、縞葉枯病のウイルスを媒介するヒメトビウンカの薬剤防除を行いましょう。なお、箱施用剤を使用したほ場で本田防除を行う場合は同一系統・薬剤の連用を避けましょう。

防除適期 ： 早植栽培 6月15～22日 普通植栽培 7月中旬

～栃木県からのお知らせです～

6月～8月は、「**栃木県農薬危害防止運動**」の実施期間です。



- 安全作業の第一歩！ 農薬散布時の身支度は万全に！
- いつものチェック！ 農薬使用の際は、ラベルをよく読み正しく使いましょう！
- 農薬散布のその前に！ 風量や風向きに注意して、飛散防止に努めましょう！

問い合わせ先

栃木県下都賀農業振興事務所 経営普及部 農畜産課 0282-24-1101

HP <http://www.pref.tochigi.lg.jp/g54/index.html>